

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」を  
ハードウェアから開発する - グループ名： Group2

担当教員名：三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行 学籍番号 1018035 氏名 對馬武郎

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	5 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	8 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	6 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	10 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	16 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	18 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか ・ 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	78 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

今期のプロジェクト学習はすべてオンラインで行われたこともあり、それゆえの弊害もあったが大部分は円滑に進んだと思う。オンラインで会議するにあたって、10人以上が同時に喋ると収拾がつかなくなるという観点から、まずグループごとにオンライン会議をして意見をまとめるという手法をとったが、これはとてもうまくいったと思う。少人数に分けることで話し合いが円滑に進み、設計面では各グループの特色を色濃く出すことができた。また、課題に対して別々の角度からアプローチできるのはとても良い事だと思う。しかし、差別化を図るあまり別のプロジェクトが3つあるように見えるとも評価された。これは反省すべきことの一つであり、後期には各グループの制作したロボットを統合して一つのロボットを制作する予定なので上手く纏まるように頑張りたい。

## 3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 須田恭平

全体会議の時にグループの意見を伝えてくれた。後期も音声認識について学びながらロボットを作りましょう。

サイン 須田恭平

コメンター氏名 山本侑吾

音声認識や、電子工作などハード、ソフトウェアの両面を担当してもらい、かなり心強かったです。引き続きよろしくお願いします。

サイン 山本侑吾

コメンター氏名 奥村輝

ロボットの知識を持っていて、音声認識をやってくれたりとすごいなと思いました。今後もよろしくお願いします。

サイン 奥村輝

## 3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 鈴木昭二

教員サイン 高橋信行

## 学習ポートフォリオ\_中間

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	對馬武郎
学籍番号	1018035
クラス	L
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	プロジェクトの進め方について、メンバーを3つのグループに分けて開発し、最終的に統合するというやり方で開発を進めてきました。これにより全員で話し合うよりも効率的に意見を纏めることができました。技術・知識の習得と応用については、前期の活動で CAD の技術やセンサー類の知識など多くのことを調べて身に付けることができました。また、身に付けた知識・技術を応用して機体の設計やシステムの構築などを行いました。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
(9 の質問で学習目標が変化した学生)	

学習目標が変わった理由は何ですか？(200文字以上)	
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)	後期も基本的には前期と同じような進め方で問題ないと考えています。プロジェクトの進め方に関しては後期には各グループの制作したロボットを統合することになるので、前期よりグループ単位で活動する頻度は少なくなると思います。約3倍の人数での話し合いになると思うのでどのように意見を纏めていくかが課題になると思います。技術・知識の習得と応用は継続して行い、必要に応じて新しい知識・技術を習得していきます。また、前期中に得たものを忘れないように復習も行っていきます。
前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200文字以上)	
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	できる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、	できる

忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	できる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	まあまあできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる

守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	よくできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	よくできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた

前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	

学習ポートフォリオ\_配属時

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	對馬武郎
学籍番号	1018035
クラス	L
現時点における学習目標は何ですか。(複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。	プロジェクトの進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(自由記述 200文字以上)	プロジェクトの進め方を学習するためには自ら進んでプロジェクトの進行に参加する必要があると思います。積極的に意見やアイデアを出し、また質問を投げかけることでスムーズな進行に繋がると 생각합니다。技術・知識を習得するためには新しいことにチャレンジしていく必要があると思います。プロジェクト上で必要になる知識や技術を自ら調べ、習得し、実際にプロジェクトで生かすことで応用的な技術・知識も身に付けることができると思います。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	まあまあできる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	まあまあできる
証拠に基づいて意見を述べることができる	まあまあできる



自分で行った結果に対して責任を持つことができる	まあまあできる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	まあまあできる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	まあまあできる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	まあまあできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる

どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	まあまあできる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	まあまあできる
他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる

活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる